



嫁ぎ先の宗教

- だんなの実家は、彼が幼いころからある宗教に入っています。これがわたしが結婚する時の壁にもなっていました。だんなは「自分は関係ないし、この宗教を継ぐ気もない」と言ったので、安心して踏み切れました。しかし、実家を訪ねると大きな仏具が目に入り、その熱さが伝わります。だんなは長男で、いずれは家を継ぐことになるでしょう。沖縄で生まれ育ったわたしは、沖縄の普通のやり方で一と願っています。宗教は大事なことだと思うので、口に出さず内に秘めてきましたが、誰に相談したらいいものか分かりません。(匿名希望・女性)

今週のお助け人

きえ りゆうしょう
帰依 龍照さん

コザ真宗寺(旧コザ本願寺)住職、琉球大学仏教研究会会長。趣味は、見た目に合わせた大型バイクと、見た目に合わない熱帯魚飼育。自分の存在そのものが、人々の癒やであれば…と日々願う。座右の言は「恩は石に刻み 怨みは水に流せ」。

今回のご相談内容はわたしの専門分野ですので、正直なところ、もう少し詳しい情報があれば、もっとお力になれるの…と思っっています。

ご心配やお悩みの原因となっている宗教がどのようなものか、文面だけでは分かりませんが、多くの宗教には「根本教義」(基本・中心となる教えの意)があり、その内容は一般的に、神仏・ご先祖に対しての「畏敬の念」(敬う心)と、わたしたちが日常生活のなかで、お互い仲良く、幸せに満たされた日々を送っていくための「指針」の両面が説かれている場合が多いです。

つまり、どのような宗教であっても、信じる人々には最良の

薬であり、信教の自由は日本国憲法下でも保障されています。サリンなどで大量殺人を企てた十年ほど前の某宗教法人は例外として、一概に善悪・甲乙をつけるのは大変に難しいと考えられます。

…と、ここまででは一般論。現実には、これからあなた方ご夫妻は、宗教について重要な選択をしなければならぬようです。

詳しく調べ、比べてみる

”重要な選択”と申しました。宗教を”選ぶ”というイメージが悪いですが、そのイメージをしばらく捨てて、「ご主人の実家の宗教」と、あなたの言わ

れる「沖縄の普通のやり方」の二つを比較するために、ある程度両方を知る必要があると考えられます。

わたしの師匠は弟子たちにこう言っていました。

「決して自分以外の宗教・思想を否定するな！ たとえば腹痛に目薬を出され、こんな効かない薬…と薬そのものの効能まで否定するようなものだ。腹痛の自分には効かないけれども、目の病気の方には最良の薬である。自分には必要なくても、必要とする人にとっては最良の薬。いたずらに批判するものではない」

入信すれば、必然と仏具も必要になるでしょう。しかしそれがすぐに宗教への熱心さに結びつくとは断言できないと思います。ご主人が「この宗教を継ぐ気はない」と言われているのであれば、今まさに早い時期、あなた自身が両方の宗教的知識を学んでおく必要がある…そんな気がします。ご夫婦円満の秘訣としては、それとなくご主人に「あのお仏壇はいつごろ購入し

たの？」なんて、さり気なく聞いてみる…こんな方法もいいかな、と思います。

何事も解決は、まず相手を肯定する過程から始まるのです。同時にあなたのおっしゃる「沖縄の普通のやり方」も学習してみませんか？ “ご供養”と言っても地域や門中によって方法は違うようですよ。

もし関心がありましたら、七月十日から十一月十三日まで毎週土曜日に、金武町立中央公民館で「沖縄の年中行事」という講義が毎回二時間ほど開講されます。担当の講師が親切丁寧に「沖縄のやり方」をアドバイスしてくださるはずですよ。とてもよい人ですからね。えっ？ 何で分かるって…ははは、講師はわたしだからです。

円満に解決できますよう、心からお念じ申し上げます。

このコーナーは年齢性別職業の異なるアドバイザーがあなたの心の悩みに答えます。相談したい事を編集部までお送りください(匿名可・秘密厳守。採用分には記念品を差し上げます。)



「あーあ、おとなりは2匹仲良く楽しそうだなヤン」
 そのアンニュイな横顔は名付けて「負け猫の遠吠え」。
 具志川市にて(酒井屋じゅん子)